



2013年度 主題 〈あふれる愛-小さきものとともに〉

1 2月主題「わかちあい」

3. 4. 5歳児月の願い

- ◎クリスマスの意味を知り、喜びを分かちあう
- ◎いろいろな人のことを思い、自分ができることを考える



今月の聖句「今日ダビデの町で、あなたがたのために

救い主がお生まれになりました。」 ルカ2:11

ダビデの町とはユダヤすなわち今日のイスラエル南部にあるベツレヘムという町のことで、ここベツレヘムにイエス・キリストさまがお生まれになりました。今年もまた、キリストの誕生を祝うクリスマスがやってきます。

クリスマスはキリスト教の祭りであり、キリスト者に関係のあることには違いありませんが、私が80年の人生でたどり着いた結論は、キリストさまが十字架と復活によって全世界の人々に安心と希望を与え、各人、いつどんなかたちで生涯が終わろうと、新しい不滅の国(これを新しいエルサレムといいます)に導いてくださるということです。創造主である神は人間の住む地球を永遠不滅の星としてはお創りにはなりませんでしたが、滅びの彼方に永遠の国があることを教えておられます。その証拠に、淡路阪神震災、東日本震災や津波、今年には伊豆大島の水害や土石流、また外国では、フィリピンの台風30号による強風と津波による大破壊。遡れば、中国四川地震、インド洋地震と津波、惑星の衝突など。我々の地球はいつ消滅するかわかりません。でも、心配しないでください。神は有限な世界に住む人間一人ひとりをかけがえのない者としてキリスト様によって、一人も滅びることのないように救いの道に導いてくださいます。そのことを気付けば、安心が得られ、ありがたいことです。皆様に神の導きがありますように。

前理事長 池田公榮

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じるものが一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」ヨハネ三・十六

アドベント「待降節」と呼ばれる今の時期、文字通りクリスマス待ち望む時です。どのような状況下にあっても、大きな希望を失わず歩みたいと願います。先行きの見えない時代だからこそ、見えない先の心配だけではなく精神の拠り所を持ちたいものです。子どもたちと共に感謝と賛美の日々を過ごしていきたいと思っております。

園長

最高の贈り物 ークリスマスー

ポカポカ陽気の小春日和から、一転して台風並みの大荒れの日になったり...いよいよ島の冬の到来ですね。園では十二月の声を聞く前からクリスマス会の準備が始まります。クリスマスツリーやリースを飾り、園庭にはイルミネーションで気分を高めます。さあ今年はどういうクリスマス会になりますか、お楽しみに。

日本では宗教を超え、年末の国民的なイベントになっているクリスマス。子どもたちにとってのお楽しみは、何といってもサンタさんのプレゼントでしょう。誰でもプレゼントは嬉しいものです。本質を言えば誕生した方に贈り物をするのが本来の姿ですから、高価なものではなく、本当に必要なものを子どもたちには贈りたいものです。心待ちにしてるものに水を差すつもりはありませんが、私たちは本当のクリスマスの意味も伝えなくてはなりません。神様が私たち人類のために救い主イエスをマリヤとヨセフを通して送ってくださったこと。その出来事を最初に知らされたのは貧しき羊飼いであり、最初にお祝いに駆けつけたのは、遠い東方の賢者たちであったこと。そして立派な王宮ではなく、粗末な家畜小屋でイエスがお生まれになったこと。そして、世界中でそのことを信じ祝い、心から人々の平和を祈っていることを伝えたいと思います。

12月の行事予定

4日(水)	餅つき
11日(水)	クリスマス会予行
14日(土)	クリスマス会
19日(木)	誕生会(12・1月生れ)
20日(金)	終園式(午前保育)

1月の行事予定

8日(水)	始園式(午前保育)
25日(土)	持久走大会

幼稚園入園受付開始
12月2日(月)より
本年もご紹介を何卒よろしくお願ひします。



まことの捧げもの

クリスマスのお話に、「鐘はなぜ鳴ったのか」(R・Mオールデン作)があります。りっぱな贈り物が捧げられた時にだけに鳴るといふ言い伝えの鐘。高い塔の上の教会の鐘は、何十年も鳴らないままでした。教会に集まる人たちは、今年こそ自分の捧げた贈り物がその鐘を鳴らし、今までに聞いたことのない美しい鐘の音を聴きたいものだとして競い合っていました。ある年のクリスマスの日にその鐘がとうとう鳴りました。教会に集まった人々は、いったい誰の捧げた贈り物で鐘が鳴ったのかと、驚きと共に振り返りますが、そこにいたのは小さな男の子。そっとその小さな手から捧げられていたのはたった一枚の硬貨でした。教会にたどり着くまでの兄との行きこそが喜ばれる贈り物だったのです。



良い行いとは何でしょうか。それは、ただ単に高価な物や立派な物を贈ることではなく、身近にいる人のことを思い、その人のために祈ることだとこの物語は教えているのです。

クリスマスは、ただ単によい子にして”プレゼントをもらうもの”と思いがちですが、実はそうではないのです。ただ自分のできる最善の行いをするときに、心から暖まるようなクリスマスをそれぞれが迎えられるのではないのでしょうか。

今年も12月を迎えるにあたり、子どもたちとクリスマス会の準備をしているところです。今一度、その出来事の意義を考え、本当の幸せを見つけられるよう過ごしていきたいと願っています。

副園長

12月の献立

日	曜	メニュー
2	月	牛乳、食パン、イタリアンスパゲティ、枝豆、スープ、りんご
3	火	牛乳、白ご飯、鶏のレモン煮、せんきゃべつ、みそ汁、オレンジ
5	木	牛乳、わかめご飯、豆腐入りサラダ、筑前煮、バナナ
6	金	牛乳、白ご飯、ふりかけ、芋天、酢の物、五目うどん、ゼリー
9	月	牛乳、食パン、魚のピカタ、和え物、ポトフ、フルーツ缶
10	火	牛乳、炊き込みご飯、春雨の酢の物、豚汁、みかん
12	木	牛乳、白ご飯、味付けのり、鶏の竜田揚げ、せんきゃべつ、スープ、りんご
13	金	牛乳、白ご飯、塩サケ、酢の物、みそ汁、ヨーグルト
16	月	牛乳、食パン、ポテトピザ、ブロッコリーサラダ、野菜スープ、オレンジ
17	火	牛乳、白ご飯、ふりかけ、鮭の味噌焼、浅漬け、みそ汁、バナナ
19	木	牛乳、カレーライス、大根サラダ、ミルクもち

都合によりメニューが変わる場合があります。ご了承下さい。